

2021 小松市

スポーツフェスティバル

inこまつドーム

子供からシニアまで、ニュースポーツやゆるスポーツなど様々な種目を気軽に体験してみよう。

参加
無料

と き

11月20日(土) 9時30分～12時

対 象

幼児～小学生とその保護者

種 目

タグラグビー、ストリートハンドボール、ストラックアウト卓球、車いすバスケットボール、グラウンドゴルフ、ボクシング、モルック、ボッチャ、ボート、スリッパ飛ばし、ゆるスポーツ、クイックオリエンテーリング、バグジー、ゲートボール、ウェイトリフティング



9時30分の開会式後、小学生までの先着200人にプレゼントを進呈します。また、6種類のスポーツを体験して景品をもらおう。

問い合わせ 小松市まちづくり市民財団 ☎23・5961

国際交流コーナー International City KOMATSU



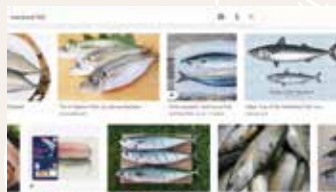
言葉＝心

国際交流員
フィミンの
こまつ新発見



私は、日々の翻訳業務で言語や文化の興味深い違いによく気付きます。その一つは、言葉はその文化が大事にするものを表している、ということです。つまり、人は大事にしているものを表現するために、必ず言葉を作ります。

最近、友達と「雨女」「晴れ女」の話をしました。元々「雨女」だった私ですが、その日は夏に戻ったように晴れていました。「雨女卒業した!」と喜んでいたら「雨女って英語で何て言う?」と友達に聞かれましたが、あんまりピンときませんでした。そもそもシンガポールでは、天気の話はあまりしません。常夏の国だし、話題にするほど天気がそんなに



▲「Mackerel」を検索すると、アジやサバなどいろんな種類が出てきます。

に変わらず、雨でも晴れでもいつものことなので「rain girl」など、あえて特定した言い方はありません。「雨女」の私は、日本に来て生まれたのです。

スーパーでも違いに気付きます。日本人が親しんでいる青魚は、サバやサンマ、アジなど種類豊富ですが、英語では全部mackerelと言います。そのため、日本に来る前は、それらは全部同じ魚だと考えていました。日本に魚を表す言葉が豊富なのは、海の幸に恵まれていて、魚料理が多いからではでないでしょうか。

一方、食事を何より大事にするとも言えるシンガポール人は「美味しい」と言う時の表現が多くあります。英語でのyummyのほか、マレー語のsedapやshiok(最高!)もあれば、福建語や潮州語のho jia!もあります。また、私の家族は親戚と全員で食事する前には、必ずみんな一人ひとりに「(呼び名)+jia!」とあいさつします。これは「さあ、食べよう」という意味ですが、マレー語の「makan」や中国語の「吃(チー)」を使う人もいますなど、様々な言葉があり、自分の所属民族に関係なく、いろいろな言葉を使います。

言語を通じ、日本の心にも、母国の心にも近づくことがこの仕事の楽しみです。

問い合わせ 観光交流課 ☎24・8039